

- 1 吉野が南朝の拠点となった理由として、京都の勢力から身を守るためにどのような地形環境が重要であった？
① 広大な平野 ② 峻険な山々 ③ 緩やかな丘陵 ④ 広大な盆地
- 2 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？
① 鎌倉幕府 ② 室町幕府 ③ 江戸幕府 ④ 明治政府
- 3 15世紀に中継貿易で栄えた東アジアの王国を何という？
① 朝鮮王国 ② 大越国 ③ 琉球王国 ④ 蝦夷地
- 4 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？
① 枕草子 ② 御成敗式目 ③ 方丈記 ④ 二条河原の落書
- 5 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた、五音と七音を組み合わせ七音が先に来る言葉のリズムを何といいますか？
① 五五調 ② 五七調 ③ 七五調 ④ 七七調
- 6 1428年に正長の土一揆が初めて発生した場所はどこですか？
① 近江国 ② 伊勢国 ③ 大和国 ④ 山城国
- 7 浦島伝説が収められている、奈良時代に編集された日本最古の歌集を何という？
① 新古今和歌集 ② 万葉集 ③ 古今和歌集 ④ 拾遺和歌集
- 8 室町時代に浄土真宗の門徒が守護大名を倒し、約100年間にわたって自治を行った場所はどこ？
① 伊賀国 ② 大和国 ③ 山城国 ④ 加賀国
- 9 現在の石川県である加賀国で、浄土真宗の門徒らが守護大名を倒した一揆が起こったのは何年ですか？
① 1467年 ② 1582年 ③ 1488年 ④ 1336年
- 10 書院造などの様式を取り入れ、現在私たちが生活する住まいの呼び名となっている部屋の種類を何という？
① 洋室 ② 土間 ③ 茶室 ④ 和室
- 11 鎌倉時代に浄土真宗を開き、後に室町時代に蓮如によって民衆へ広く広められた人物は誰？
① 親鸞 ② 法然 ③ 日蓮 ④ 一遍
- 12 建武の新政の混乱を批判し、1334年に京都の二条河原に立てられた落書で、その当時の混乱を招いた天皇は誰ですか？
① 後白河天皇 ② 後醍醐天皇 ③ 後鳥羽天皇 ④ 後深草天皇
- 13 正長の土一揆において、農民たちが酒屋や土倉を襲い、借金の帳消しを求めた要求を何といいますか？
① 一揆 ② 分国法 ③ 寄合 ④ 徳政
- 14 東求堂同仁斎に見られる、畳や床の間、棚などを備えた日本の住宅建築の様式を何という？
① 数寄屋造 ② 武家造 ③ 書院造 ④ 寝殿造
- 15 15世紀、琉球王国を建国する前に、それまで分立していた北山・中山・南山の3つの勢力をまとめて何という？
① 三山 ② 三職 ③ 三省 ④ 三成



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	吉野は奈良の奥地に位置し、非常に険しい山々に囲まれています。		2 峻険な山々	☐
2	鎌倉幕府は、北条氏が実権を握り、武士による裁判や土地支配を行う仕組みを整えていました。		1 鎌倉幕府	☐
3	琉球王国は、中国（明）、日本、東南アジアの国々を繋ぐ「中継貿易」で莫大な利益を得ました。		3 琉球王国	☐
4	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。		4 二条河原の落書	☐
5	二条河原の落書は、当時の世相に対する痛烈な批判を、当時の人々にとって馴染み深く覚えやすい「七五調」のリズムで表現しました。		3 七五調	☐
6	1428年に近江国（現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。		1 近江国	☐
7	万葉集は、天皇や貴族だけでなく、防人や名もなき人々が詠んだ歌を約4500首も集めた巨大な歌集です。		2 万葉集	☐
8	加賀国では、蓮如の布教によって浄土真宗が深く浸透しました。		4 加賀国	☐
9	1488年、本願寺の教えによって強く結びついていた門徒らは、加賀の守護であった富樫氏に対して大規模な一揆を起こしました。		3 1488年	☐
10	和室は、床の間という芸術品を飾る空間や、畳という天然素材の床材を備えた部屋です。		4 和室	☐
11	親鸞は、阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えるだけで救われるとする浄土真宗を説きました。		1 親鸞	☐
12	しかし、この政治は急進的な改革が多く、武士の恩賞問題などが解決されなかったため、多くの不満を招きました。		2 後醍醐天皇	☐
13	土一揆において農民たちは「徳政」を要求しました。		4 徳政	☐
14	書院造は、畳を部屋全体に敷き詰め、床の間や棚、障子、襖などを配置した建築様式です。		3 書院造	☐
15	15世紀の初め、中山の王であった尚巴志が、この3つの勢力を統一しました。		1 三山	☐

言えなかった用語ノート